

令和2年度しょうけい館事業実施状況報告

(令和2年4月から令和3年1月末日まで)

目 次

1 はじめに	1	5 資料収集・保存	
2 しょうけい館利用状況		(1)新規証言映像の収録	16
(1)今年度の事業概況	2	(2)実物資料収集	16
(2)来館者数	3	(3)図書資料	16
(3)企画展 来館者数	4	6 普及・広報	
3 新型コロナウイルス感染予防施策	5～6	(1)ホームページ・情報媒体利用	17
4 展 示		(2)メディア・掲載記事	18～20
(1)企画展の実施	7～9	7 語り部育成事業	21
ミニ展示の実施	10～11	8 語り部講話活動事業	22～23
(2)3館連携企画	12	9 友の会	24
①戦後75年3館連携企画展－岩手 盛岡展－	12	10 利用者アンケート	25～27
②夏休み3館めぐりスタンプラリー【中止】	13		
③こども霞が関見学デー【中止】	13		
(3)上映会の開催	14		
(4)貸出キットの利用	15		

奥野義章 しょうけい館 館長ご逝去

平成26年より、しょうけい館館長を務められました
奥野義章様が、令和3年1月15日、ご逝去されました。
(享年99歳)
ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



しょうけい館では現在、奥野義章館長への追悼と感謝の意を込め、
1階展示コーナーに、生前の奥野義章館長の戦傷病者としての
証言映像と、数多くの経歴を紹介するパネルを設置し、来館者に
発信しています。



令和2年度事業実施状況報告

令和2年4月から令和3年1月末日までの「しょうけい館」各分野毎の事業実施状況をご報告いたします。

2 しょうけい館利用状況

2

(1) 今年度の事業概況

新型コロナウイルスの影響による事業計画の変更(中止)

今年度は、来館者の感染予防を最優先して館を安全に運営するために、やむを得ず、多くの事業を延期・中止いたしました。

臨時休館	令和2年4月1日から5月31日（令和2年3月からの感染状況拡大と、4月7日からの緊急事態宣言により） （臨時休館は令和2年2月28日より実施）
展示会・催事	①春の企画展の中止（病床からフィールドへ ～スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡～3月10日～5月10日） ②3館連携スタンプラリーの実施中止（7月中旬～9月初旬） ③令和2年度 こども霞が関見学デーの開催中止（8月中旬）
見学運営	①団体見学の受付中止（令和2年6月～現在）
語り部活動	①団体見学者向け講話の中止（令和2年6月～現在） ②定期講話会の計画・一部実施および中止（急遽 計画し一部実施しましたが、感染拡大により中止）

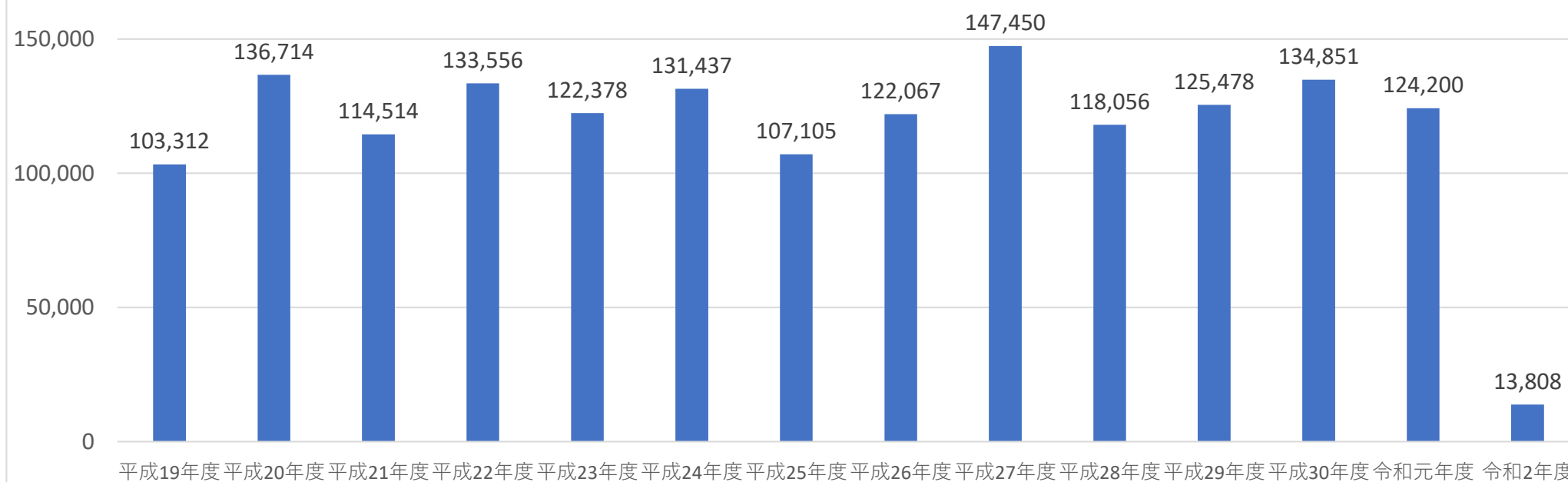
(2) 来館者数

来館者数は、館が設置している「自動カウンター機」により計測

(単位：人)

月	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
4	8,439	13,980	12,276	14,139	11,723	13,568	9,644	12,806	11,873	12,327	13,761	13,978	13,824	0
5	9,193	9,395	7,592	8,164	7,982	14,710	9,421	11,224	11,526	8,864	8,732	8,796	9,413	0
6	8,356	14,235	11,548	11,940	11,635	12,424	11,748	12,043	12,172	12,163	12,134	9,166	10,123	1,357
7	10,094	10,345	10,655	16,356	12,395	12,480	10,884	13,515	16,547	9,083	12,489	12,998	13,827	1,916
8	16,608	17,316	14,640	17,260	15,192	17,236	13,592	15,763	21,267	12,663	16,369	19,039	17,147	2,646
9	8,277	13,664	7,610	12,996	10,125	9,892	8,205	8,943	12,218	8,387	8,453	9,199	8,733	2,194
10	6,653	7,392	8,252	9,186	8,346	12,664	8,960	9,479	10,350	8,590	9,028	10,510	9,161	1,506
11	8,365	6,232	7,144	9,888	8,024	8,264	8,124	8,477	9,624	6,347	9,118	11,013	11,332	1,569
12	5,497	7,760	8,316	8,792	7,953	8,012	8,442	8,602	11,753	8,888	7,382	9,045	9,623	1,177
1	4,910	16,527	7,580	8,140	6,203	5,210	5,970	5,994	12,422	9,169	8,247	10,266	11,213	1,443
2	7,311	10,476	8,893	8,912	8,420	7,118	4,381	5,119	8,673	9,194	8,358	11,397	9,804	—
3	9,609	9,392	10,008	7,783	14,380	9,859	7,734	10,102	9,025	12,381	11,407	9,444	0	—
計	103,312	136,714	114,514	133,556	122,378	131,437	107,105	122,067	147,450	118,056	125,478	134,851	124,200	13,808

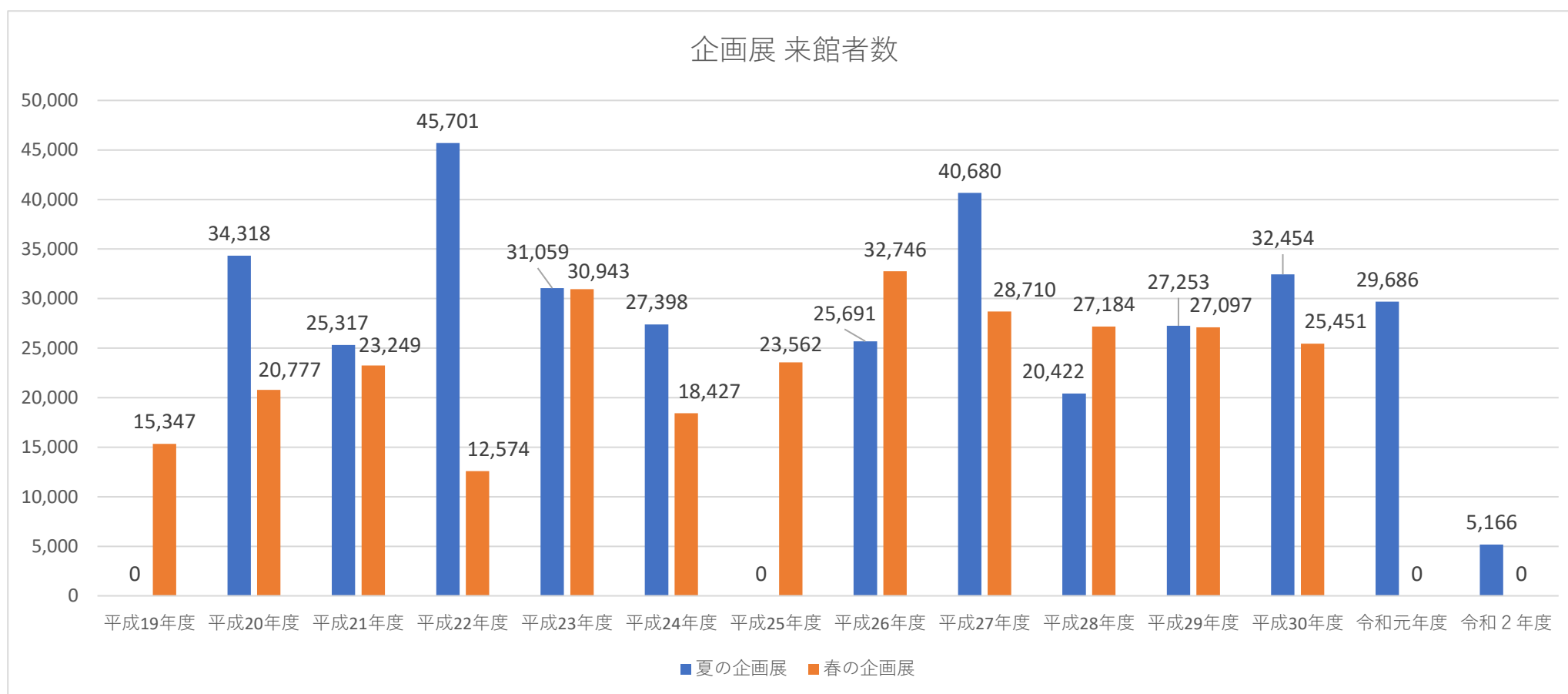
年度別来館者数推移(単位：人)



(3) 企画展 来館者数

(単位:人)

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
夏	—	34,318	25,317	45,701	31,059	27,398	—	25,691	40,680	20,422	27,253	32,454	29,686	5,166
春	15,347	20,777	23,249	12,574	30,943	18,427	23,562	32,746	28,710	27,184	27,097	25,451	中止	—



本予防策は、(公)日本博物館協会が制定した「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則って検討し、厚生労働省の確認を得て策定、実施しました。

1. 感染を疑われる者が発生した場合の対応策

①館内一時隔離と救急搬送要請

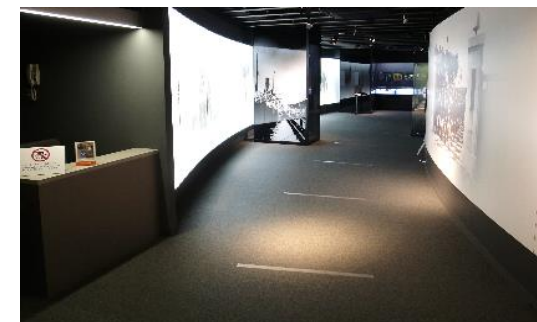
施設内で体調を崩し感染が疑われる者(来館者、職員、業務関係者など)が発生した場合は、

- ・該当者を速やかに1階談話室に移し隔離する。
- ・救急搬送を要請し、医療機関へ搬送する。
- ・当該者が感染していた場合には、厚労省、保健所等の連携のもと、速やかな情報公開など事後の対策を講ずる。



2. 来館者対応策

- ①検温の実施
- ②来館者の連絡先の提出要請
- ③マスク着用要請
- ④イベント、ガイドツアーの中止
 - ④-1 団体見学受付中止(語り部講話中止、展示解説中止)
 - ④-2 企画展付帯講演会などイベント、学芸員フロアレクチャー中止
- ⑤入場者の一定距離の確保と入場制限
- ⑥閲覧図書の利用方法の変更
- ⑦配布物の手渡し配布から据置き方式への変更



3. スタッフ対応策

- ①検温の実施
- ②マスク着用
- ③健康状態の報告
- ④手指消毒の励行
- ⑤時差出勤、在宅勤務併用の勤務体制

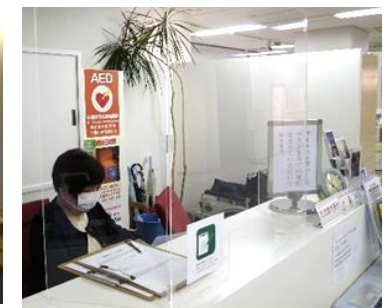


健康確認票						
2. 日	氏名	体温	のどの痛み	息苦しさ	せき	倦怠感
付明		36.0℃	✓	✓	✓	✓
安敵		36.1℃	✓	✓	✓	✓
善夫		36.3℃	✓	✓	✓	✓
克己		36.0℃	✓	✓	✓	✓
武晴		36.1℃	✓	✓	✓	✓
拓海		36.0℃	✓	✓	✓	✓



4. 施設管理策

- ①施設の消毒・清掃の励行
- ②換気
- ③接触展示の制限
- ④受付アクリル板の設置



5. パブリック・コミュニケーション策

- ①感染防止策等のホームページでの情報提供
- ②館内サインの掲示
- ③予防関連ポスター等の掲示



開館（臨時休館終了）のお知らせ
2020年6月2日（火）～

当館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月28日（金）から臨時休館してまいりましたが、6月2日（火）から開館いたします。

開館にあたっては感染予防の観点から必要な感染予防策をとらせていただきます。ご来館の際は皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

入館時のお願い

- 入館時に受付にて体温計測と検温を実施します。37.5度以上の体温が認められた場合には入館をご遠慮下さい。また、咳やのどの痛みがある方、その他体調に不安のある方は入館をご遠慮下さい。
- 観覧2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪歴歴及び当該国・地域との濃厚接触がある方の入館はご遠慮下さい。
- 入館時には受付にて検温済みであることをお知らせ下さい。
- 必ずマスクの着用をお願い致します。
- 観覧時にも密着を厳禁しております。入館時とは異なり、必要に応じてご利用下さい。
- 館内の混雑を避けるため、入館を制限する場合があります。予めご了承ください。

(1) 企画展の実施

① 春の企画展 : 病床からフィールドへ ～スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡～

〈会 期〉 令和2年3月10日(火)～5月10日(日)

緊急事態宣言の為に中止 → 令和3年春の企画展で開催

〈協 力〉 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会、NHK、日本赤十字社

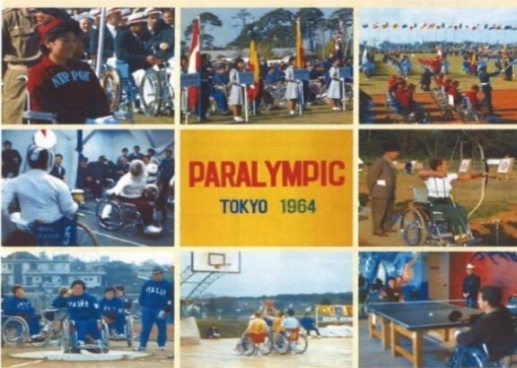
〈内 容〉 本展では、スポーツが戦傷病者の人生にどのように関わってきたのか、戦時中の傷痍軍人錬成大会や東京パラリンピックなどを通じて紹介する。2020東京オリパラ応援プログラム認定済み。
また、しょうけい館の収蔵品の中から発見された「1964年東京パラリンピック」のカラー映画を上映します。

〈関連イベント〉 証言映像上映会 : 展示に関する証言映像を上映(会期中毎日)

記念講演会 : 吉田紗栄子氏(1964年東京パラリンピック通訳ボランティア)による講演会 3月15日(日)

フロアレクチャー : 学芸員による企画展の展示解説 3月29日(日)、4月19日(日)、5月3日(日)

1964年東京パラリンピック 幻のカラー記録映画上映!!



PARALYMPIC
TOKYO 1964

春の企画展
病床からフィールドへ
—スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡—

令和2年 3.10(火)・5.10(日)

しょうけい館
戦傷病者史料館

開館時間・10時～17時30分(入館は17時まで)
会 場・しょうけい館1階展示室
休 館 日・毎週月曜日・5月24日(祝日)

春の企画展
病床からフィールドへ
—スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡—

本展では、身体機能の回復・強化を目指すなかで、戦傷病者がスポーツとどのように関わってきたのかを紹介し、戦時中に開催された「傷痍軍人錬成大会」と、戦後1964年開催の「東京パラリンピック」の2つの大きなスポーツ大会を通して、当時の戦傷病者とスポーツの関わりを紹介する。

また、しょうけい館の収蔵品の中から発見された「1964年東京パラリンピック」のカラー映画を上映します。東京パラリンピックのカラー記録映画は、現在確認されているものではこの作品しかありません。緑内障・白内障(緑内障手術)で失明した作品で、開会式や15の競技・種目の様子などが詳細に記録されています。

映像上映
※ 会期中に開催する映像を上映
※ 毎日 10:00～17:00
※ 1階証言映像シアター
※ 入場無料

記念講演会
※ 講演者として参加した1964年東京パラリンピック通訳ボランティア
※ 吉田紗栄子氏
※ 3月15日(日) 14:00～15:30
※ しょうけい館1階証言シアター
※ 入場無料

フロアレクチャー
※ 学芸員による企画展の展示解説
※ 3月29日(日)・4月19日(日)・5月3日(日) 14:00～14:30
※ 1階企画展示室
※ 当日要予約・無料

2020年3月10日(火)～5月10日(日)
会 場・しょうけい館1階企画展示室
開館時間・10:00～17:30(入館は17:00まで)
休 館 日・毎週月曜日(5/7(土)・5/14(日)は開館)

しょうけい館
戦傷病者史料館
www.shokeikan.go.jp

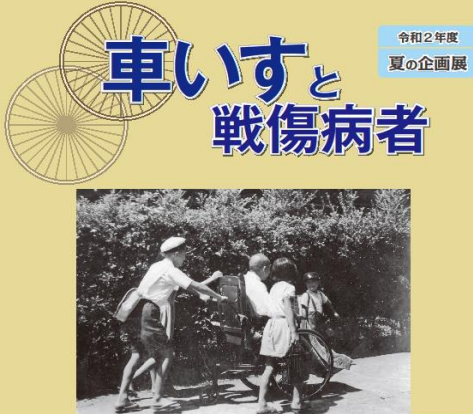
② 夏の企画展：車いすと戦傷病者

〈会 期〉 令和2年7月14日(火)～9月13日(日)

〈協 力〉 (株)オーエックスエンジニアリング

〈内 容〉 戦後75年を迎える今年は、戦傷病者とそのご家族にとって大きな節目の年です。本展では、戦場で脊髄を負傷し、箱根療養所で車いす生活を送った戦傷病者を中心にその労苦を振り返ります。また、車いすそのものにも目を向け、当時の車いすの役割や、戦後のパラリンピックスポーツへの発展についても紹介すると共に当館所蔵の「箱根式車いす」に加え、最新式の競技用車いすも展示しました。

〈関連イベント〉 証言映像上映会：企画内容に関連した戦傷病者の証言映像、箱根療養所親睦会制作の記録映像を上映しました。



令和2年度
夏の企画展

車いすと戦傷病者

2020年 7.14 開 → 9.13 閉
開館時間：10:00～17:30
(入館は17:00まで)
休 館 日：毎週 月曜日・8月11日(火)
[8月10日(火)は開館]
会 場：しょうけい館 1階 企画展示室
協 力：株式会社オーエックスエンジニアリング

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会期等を変更・中止する場合があります。
最新の情報は当館ホームページをご確認ください。

しょうけい館 戦傷病者史料館
〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-13 ツカキスクエア地下 TEL: 03-3234-7821 FAX: 03-3234-7826

入 場 無 料
www.shokeikan-go.jp



③ 春の企画展 : 病床からフィールドへ ～スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡～

〈会 期〉 令和3年3月16日(火)～5月9日(日)

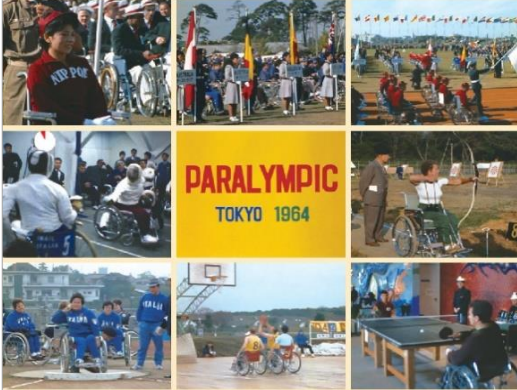
〈協 力〉 東京オリンピックパラリンピック競技大会組織委員会(予定)、社会福祉法人太陽の家

〈資料提供〉 公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

〈内 容〉 本展では、スポーツが戦傷病者の人生にどのように関わってきたのか、戦時中の傷痍軍人錬成大会や東京パラリンピックなどを通じて紹介する。2020東京オリパラ応援プログラム認定済み。
また、しょうけい館の収蔵品の中から発見された「1964年東京パラリンピック」のカラー映画を上映します。

〈関連イベント〉 証言映像上映会 : 展示に関する証言映像を上映(会期中毎日)

1964年東京パラリンピック 幻のカラー記録映画上映!!



PARALYMPIC TOKYO 1964

春の企画展
病床からフィールドへ
—スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡—

令和3年 3.16(火)・5.9(日)

しょうけい館 戦傷病者史料館
Ryoseikai Museum for War Wounded Soldiers and Sailors

開館時間・10時～17時30分(入館は17時まで)
会 場・しょうけい館1階展示室
休 館 日・毎週月曜日・5/5(土)は臨時休館

春の企画展
病床からフィールドへ
—スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡—

1964年に行われた東京パラリンピックは、第1回開閉式大会の閉幕スター・ハンギング競技大会と第2回開閉式大会に分かれて開催されました。第1部では音韻記号や車椅子を使用する選手、第2部では車椅子を操縦した身体障害者の選手が闘いました。さらには大会にも戦傷病者が出場し、多くの競技において記録を残しました。特に第1回開閉式スター・ハンギング競技大会では、国立瑞穂病舎(現・国立病院機構瑞穂病舎)から5名の戦傷病者が出場し、何人とも戦後のメダルを獲得する快挙を成し遂げました。

本展では、戦時中に開催されたスポーツ大会や1964年東京パラリンピックの歴史を紹介するとともに、戦傷病者がスポーツ上の関わりの中で自身が得たものとどのように向き合ってきたのかを紹介します。また、1964年東京パラリンピックのカラー記録映画を上映し、東京パラリンピックのカラー記録映画は、実証確認されているものではこの作品しかありません。思泉館・国立治癒療養所(当時)が企画・制作した作品で、開会式や15の競技・部門の選手が77組に記録されています。

入場無料

関連イベント

映像上映
会 場・企画展に関連する映像を上映
日 時・毎日 10:00～17:00
場 所・1階証言映像シアター
入 場・鑑賞自由・無料

記録映画
「PARALYMPIC TOKYO 1964」
カラー記録映画(26分)
1日に7回、毎正時に上映します。

証言映像
当館で収蔵した戦傷病者の証言映像より、企画展のテーマに沿った作品を随時上映します。

●地下鉄をご利用の場合
「山手線」赤羽駅より徒歩1分(東武池袋線、山手線、池袋駅西口)
●都営バスをご利用の場合
「山手線」赤羽駅より徒歩1分(池袋線、山手線、池袋駅西口)
※バス・都営バス・山手線(池袋線、山手線、池袋駅西口)は、池袋駅西口から徒歩1分です。
※バス・都営バス・山手線(池袋線、山手線、池袋駅西口)は、池袋駅西口から徒歩1分です。
※バス・都営バス・山手線(池袋線、山手線、池袋駅西口)は、池袋駅西口から徒歩1分です。

2021年3月16日(火)～5月9日(日)
会 場・しょうけい館1階企画展示室
開館時間・10:00～17:30(入館は17:00まで)
休 館 日・毎週月曜日(5/5(土)は臨時休館)

しょうけい館 www.shokeikan.go.jp 〒100-0074 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-5561-3131 FAX 03-5561-7605

ミニ展示の実施

第25回 「上田毅八郎絵画展」

〈会 期〉 令和2年4月2日(木)～7月12日(日)

〈内 容〉 当館所蔵の上田毅八郎さんの資料を展示しました。

上田さんは海洋船舶画家としてプラモデルの箱絵などを描いた戦傷病者であり、戦時中に利き腕である右腕を受傷したことにより、戦後は主に左腕一本で絵画を描きました。

スケッチ図や原画、実際に使用していた道具類を展示し、数多くの活動の一端を紹介しました。

臨時休館により、実際の会期は6月2日(火)～7月12日(日)



第26回 「寄贈資料紹介 シベリア珪肺」

〈会 期〉 令和2年9月15日(金)～12月27日(日)

〈内 容〉 山本泰夫氏ご家族から寄贈されたシベリア珪肺と、シベリア珪肺全国連絡協議会に関する資料を紹介しました。

シベリア珪肺は、戦後、ソ連に抑留され鉱山労働に従事した人がかかったもので、一般の珪肺症と区別して「シベリア珪肺」と呼んでいます。今回は、シベリア珪肺の概要、診断の難しさや恩給請求を行うまでの経緯、患者仲間からの書簡などを紹介しました。



第27回 「宮本三郎 描かれた傷痕軍人」

〈会 期〉 令和3年1月8日(金)～3月7日(日)

〈内 容〉 1944(昭和19)年に制作された宮本三郎画《軍事保護院總裁箱根療養所慰問》(寄贈: (独)国立病院機構箱根病院)を中心として、戦時期における宮本三郎の画業と、絵画作品、箱根療養所について紹介しました。戦争記録画である世田谷美術館所蔵の《飢渴》、下絵をパネル展示したほか、箱根療養所で暮らした戦傷病者の作った作品なども展示しました。



(2) 3館連携企画

① 戦後75年3館連携企画展 未来へつなぐ戦中・戦後の記憶

〈主 催〉 しょうけい館・昭和館・平和祈念展示資料館

〈会 期〉 令和2年10月2日(金)～10月11日(日)

〈共 催〉 岩手県、盛岡市

〈会 場〉 盛岡市民文化ホール 展示ホール(マリオス4階) [岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1]

〈後 援〉 岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、岩手日報社、岩手日日新聞社、盛岡タイムス社、デーリー東北新聞社盛岡支局、読売新聞社盛岡支局、朝日新聞社盛岡総局、毎日新聞社盛岡支局、産経新聞社盛岡支局、共同通信社盛岡支局、NHK盛岡放送局、テレビ岩手、IBC岩手放送、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラヂオ・もりおか、岩手ケーブルテレビジョン

〈協 力〉 一般財団法人岩手県遺族連合会および一般財団法人日本遺族会第1ブロック

〈内 容〉 令和2年は終戦から75年を迎える節目の年にあたり、戦後生まれの世代が大多数を占める今、戦中・戦後の労苦について国民への理解を深めるべく、東京の3つの国立の施設が合同で展示を行いました。しょうけい館では、戦傷病者とそのご家族等の戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての資料・証言映像を紹介しました。



戦後75年 3館連携企画展

昭和館
くらしにみる昭和の時代
— 岩手県 —
戦中・戦後の岩手県に関連する実物資料や写真を通して、人々のくらしという観点から昭和の時代を紹介いたします。

しょうけい館
しょうけい館(戦地調査史料館)
— 岩手県 —
戦中で暮らす、あるいは戦にたれた方とご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦を紹介いたします。

平和祈念展示資料館
未来へつなぐ
戦中・戦後の記憶
昭和館
しょうけい館
平和祈念展示資料館

令和2年10月2日(金)～10月11日(日)
午前10時～午後5時
10月10日は休館日
※休館日には、展示品のある他施設開放をさせていただきます(要予約)。詳しくは、各施設にお問い合わせください。

盛岡市民文化ホール 展示ホール(マリオス4階) 岩手県盛岡市盛岡駅西通2-9-1
入場料 無料

主催 しょうけい館、昭和館、平和祈念展示資料館
共催 岩手県、盛岡市
後援 岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、岩手日報社、岩手日日新聞社、盛岡タイムス社、デーリー東北新聞社盛岡支局、読売新聞社盛岡支局、朝日新聞社盛岡総局、毎日新聞社盛岡支局、産経新聞社盛岡支局、共同通信社盛岡支局、NHK盛岡放送局、テレビ岩手、IBC岩手放送、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ラヂオ・もりおか、岩手ケーブルテレビジョン
協力 一般財団法人岩手県遺族連合会、一般財団法人日本遺族会第1ブロック

(3) 上映会

① 証言映像定期上映会の開催

「戦傷病者の証言」を地域別に分けて3回上映

関東地方編その2

〈会 期〉 令和2年6月2日(火)～7月12日(日)

〈内 容〉 関東地方で収録した証言映像27本を上映。

中部地方編その1

〈会 期〉 令和2年9月15日(火)～12月27日(日)

〈内 容〉 中部地方で収録した証言映像24本を上映。

中部地方編その2

〈会 期〉 令和3年1月5日(火)～2月9日(火)

令和3年2月17日(水)～3月14日(日)

〈内 容〉 中部地方で収録した証言映像24本を上映。

② 夏の企画展「証言映像上映会」

〈期 間〉 令和2年7月14日(火)～9月13日(日)

〈内 容〉 箱根療養所で暮らした戦傷病者とその家族などの証言映像18本を上映。

③ 平和祈念展示資料館連携企画

〈期 間〉 令和3年2月10日(水)～2月16日(火)

〈会 場〉 九段生涯学習館2階 九段ギャラリー

〈内 容〉 九段生涯学習館で開催された平和祈念展示資料館特別展示「宮崎静夫展 友を悼む」の連携企画として、シベリア抑留を体験した戦傷病者の方の証言映像を上映するほか、手記などの関連図書を図書閲覧室で紹介。

(4) 貸出キットの利用

1 貸出キットの利用

貸 出 先 : 富山県戦時下の暮らし展実行委員会

貸 出 期 間 : 令和2年7月22日～令和2年8月6日 (展示期間令和2年7月30日～8月4日)

貸 出 資 料 : 展示パネルA2サイズ30点セット・義足

期間中の入場者 : 756人

2 利用者団体 3件貸出 令和2年4月～令和3年1月末現在

- ①富山県戦時下の暮らし展実行委員会
- ②「棚倉平和のための資料展」実行委員会
- ③桑名市遺族会

【貸出キット 構成内容】

(常設展示室で展示している内容をコンパクトにまとめたもの)

- ①展示パネル30点(解説パネルと関連パネルで構成)
 - * 戦争とその時代 * 戦地での受傷病と治療 * 本国への搬送・帰還後の労苦
 - * 戦後の労苦
- ②実物資料1点 * 義足
- ③展示パネル8点
 - * 戦中の労苦 * 戦争とその時 * 受傷 * 救護・収容 * 戦時下の療養生活
 - * 戦後の労苦 * 終戦直後の労苦 * 傷病とともに生きる
- ④箱根療養所パネル7点
 - * 箱根式車椅子と子どもの作文 * 箱根病院の変遷 * 戦中の療養 * 戦後の療養
 - * 傷兵院と箱根療養所の入所者数 * 入所者を見守った書画 * 入所者の支え
- ⑤証言映像DVD 1点

富山県民会館2階ギャラリーB



(1) 新規証言映像の収録

- ・令和2年度は、9月に神奈川県小田原市で1件収録し、令和3年2月までに編集を完了し、3月より公開予定
- ・館内上映の証言映像公開数は198本となっています。
(令和3年1月末現在)

(収録の様子)



(2) 実物資料収集

寄贈では、戦傷病者本人が最後まで所有していた資料（現認証明書、症状経過書などの証明書類、補装具など）を受け入れました。

購入では、日中戦争期の衛生部隊の写真帳、傷痍軍人療養所の写真葉書などを入手しました。

令和元年度末までの登録数(内、平成24年度まで 9,060点)	30, 876点
令和2年度の資料寄贈(令和3年1月末現在)	266
令和2年度の資料購入(令和3年1月末現在)	8
館所蔵資料総合計(令和3年1月末現在)	31, 150点

* 令和元年10月から令和2年10月の受け入れ資料については、令和2年10月26日より10月30日まで燻蒸を実施した。

(3) 図書資料の収集

寄贈では、従軍看護婦の体験記、研究者からの研究成果物などを受け入れました。

購入では、傷痍軍人療養所の機関誌や外地の陸軍病院関係者の回顧録などを入手しました。

令和元年度末までの登録数(内、平成24年度まで 7,902点)	10, 173点
令和2年度の寄贈(令和3年1月末現在)	9点
令和2年度の購入(令和3年1月末現在)	10
館所蔵図書資料総合計(令和3年1月末現在)	10, 192点

(1) ホームページ・情報媒体利用

「広報千代田」等の広報物、東京都博物館協議会等の刊行物、「千代田区観光協会」HP、「インターネットミュージアム」、「イベントバンク」等の情報サイトを活用し、令和2年度は地方展、企画展や定期上映会等について、それぞれの媒体に対して29回掲載し、新鮮な情報提供に努めました。

しょうけい館ホームページは、「館だより」を令和3年1月末まで8回更新をした他、情報を27回更新したほか、今年度は団体見学の事前申し込みに「次世代の語り部による講話」のプログラムを新設し、更なる来館促進に努めました。またホームページでは、データベースを活用した図書検索機能を、フリーワードのほか、書名、著者名、出版者(社)、出版年、ジャンル、分類番号を用いた容易な検索により、機能性の高いホームページとして認識されています。

(2)メディア・掲載記事

7月14日 NHK 首都圏ネットワーク

夏の企画展「車いすと戦傷病者」について、NHKより取材を受け、テレビで紹介されました。



10月8日 岩手日日新聞

10月9日 盛岡タイムス

忘れまい 戦争の記憶
盛岡・戦後75年企画展
写真、黒塗り教科書など185点

戦後75年の節目、未来へつなぐ戦中・戦後の記憶。盛岡市昭和三十九年（一九六四年）の戦中・戦後の写真、黒塗り教科書など185点を展示する。昭和の戦中・戦後の記憶を伝える資料として、昭和の戦中・戦後の写真、黒塗り教科書など185点を展示する。昭和の戦中・戦後の記憶を伝える資料として、昭和の戦中・戦後の写真、黒塗り教科書など185点を展示する。



昭和の戦中・戦後の記憶を伝える資料として、昭和の戦中・戦後の写真、黒塗り教科書など185点を展示する。昭和の戦中・戦後の記憶を伝える資料として、昭和の戦中・戦後の写真、黒塗り教科書など185点を展示する。

戦争の痛み次代に
写真や所持品を展示
抑留体験県人の手記も

戦争の痛み次代に。写真や所持品を展示。抑留体験県人の手記も。戦争の痛み次代に。写真や所持品を展示。抑留体験県人の手記も。戦争の痛み次代に。写真や所持品を展示。抑留体験県人の手記も。



戦争の痛み次代に。写真や所持品を展示。抑留体験県人の手記も。戦争の痛み次代に。写真や所持品を展示。抑留体験県人の手記も。戦争の痛み次代に。写真や所持品を展示。抑留体験県人の手記も。

平和な日常の尊さ伝える
昭和館など3施設の資料展示
本県関係も多数

昭和館など3施設の資料展示。本県関係も多数。昭和館など3施設の資料展示。本県関係も多数。昭和館など3施設の資料展示。本県関係も多数。




昭和館など3施設の資料展示。本県関係も多数。昭和館など3施設の資料展示。本県関係も多数。昭和館など3施設の資料展示。本県関係も多数。

10月6日 岩手日報

10月4日 朝日新聞

**県内の写真など
戦中戦後の資料**
盛岡で展示 11日まで

戦時中や戦後の資料を展示する昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館（全て東京が連携した企画展「未来へつなぐ戦中・戦後の記憶」が盛岡市民文化ホールで開かれている。11日まで。5日は休み。3館は5年前から連携企画展を各地で開催してきたが、県内は初めて。会場には銃弾で穴が開いた軍帽や家族に宛てた遺書のほか、戦中戦後の県内の写真も展示されている。訪れた福士ミホ子さん（77）は戦争で父を亡くした。当時の記憶はないが、こうして写真や資料を見て想像することができた。改めて平和の大事さを感じる」と話した。（中山直樹）



戦時中や戦後の資料を展示する昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館（全て東京が連携した企画展「未来へつなぐ戦中・戦後の記憶」が盛岡市民文化ホールで開かれている。11日まで。5日は休み。3館は5年前から連携企画展を各地で開催してきたが、県内は初めて。会場には銃弾で穴が開いた軍帽や家族に宛てた遺書のほか、戦中戦後の県内の写真も展示されている。訪れた福士ミホ子さん（77）は戦争で父を亡くした。当時の記憶はないが、こうして写真や資料を見て想像することができた。改めて平和の大事さを感じる」と話した。（中山直樹）

語り部の育成

- 【第2期生】 平成29年度より開始した研修の3年目は、コロナの影響を受けながらも、無事、修了することができました。令和2年度の研修は、マスクだけでなく演題にアクリルボードの設置やフェイスシールドを設置しての実施となりました。研修の延期を余儀なくされるも、日程を後半に集約・調整し、リモートも実施して2か月遅れで修了することができました。審査会は、リモートも含めて実施し、10月10日(土)の修了式(台風のため中止)を経て修了証を交付(郵送)しました。修了後は、「次世代の語り部」として委嘱し、第1期生とともに館の語り部として活動しています。
- 【第3期生】 令和2年度は、自由テーマによるミニ原稿講話の発表や証言映像をもとに、ミニ講話の発表を実施しました。演習形式で、問題点や課題となる部分、講話原稿に向けての展望を確認しました。語り部第1期生の講話聴講なども実施のうえ、9月より講話原稿の作成に着手しています。



第2期生審査会



第3期生研修

次世代の語り部講話活動

第1期生10名、委嘱後の第2期生7名による「次世代の語り部」講話活動を実施しています。

【館内講話】 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、団体予約を休止しているため、団体への講話は実施しませんでした。

【派遣講話】 令和2年9月、11月、12月に各1回、派遣講話を実施しました。

【定期講話会】 10月から12月、各月2回、一般来館者向けに、館内で定期講話会を実施しました。

派遣講話の様子



(株)ケアフレンド デイサービスなごみ



世田谷区教育委員会(ピースセミナー)

定期講話会の様子
(当館1階シアター)



語り部講話活動状況一覧表(令和3年1月末現在)

【派遣講話】

NO.	日 付	団 体 名	語り部委嘱者		人 数
1	令和2年9月16日	(株)ケアフレンド デイサービスなごみ	石野 幸子		13
2	令和2年11月7日	(株)ケアフレンド デイサービスなごみ	石野 幸子	保坂 弘子	12
3	令和2年12月25日	世田谷区教育委員会 (ピースセミナー)	榎本 瞳	大野 真理子	7

合計2団体 参加人数32名 (令和3年1月末現在)

【定期講話会】

NO.	日 付	講話会回数	語り部委嘱者				人数
1	令和2年10月17日	第1回	高峰 章	小暮 倫子			7
2	令和2年10月31日	第2回	小暮 倫子	瀧澤 美和子	中野 静香	猿渡 彰	11
3	令和2年11月14日	第3回	保坂 弘子	中野 静香	高峰 章		4
4	令和2年11月28日	第4回	榎本 瞳	大野 真理子	保坂 弘子	塚原 浩太郎	17
5	令和2年12月5日	第5回	保坂 弘子	榎本 瞳	猿渡 彰	高峰 章	7
6	令和2年12月19日	第6回	石野 幸子	中野 静香			9

合計6回 参加人数55名 (令和3年1月末現在)

・友の会について

加入登録者数： 629人（令和3年2月現在）

- ・令和2年10月に友の会通信 第10号を会員の方へ発送
- ・令和3年 2月に友の会通信 第11号を会員の方へ発送

* 友の会会員は日本傷痍軍人会会員と、同妻の会会員とご家族

(友の会通信 第10号)

友の会通信 第10号

館の運営状況

はじめに
 友の会通信第8号（前号）にて、会員の皆様は短歌を募集して頂いた所、多くの方々よりご応募いただきましたことできました。お送り頂いた皆様、誠にありがとうございました。館内で選考の上、大賞、佳作、事務局長賞が決まりました。皆様の作品をご紹介します。

大賞
 いましばし戦を語りつくすまで
 神お侍けよるる方かれ
 内山 孝

佳作
 赤瓦 一面に 嘆きめめ
 手入れば念のせき 起れ
 金海 孝

佳作
 赤瓦 一面に 嘆きめめ
 手入れば念のせき 起れ
 金海 孝

事務局長賞
 赤瓦 一面に 嘆きめめ
 手入れば念のせき 起れ
 金海 孝

その他
 赤瓦 一面に 嘆きめめ
 手入れば念のせき 起れ
 金海 孝

左館受付の様子 映像シアターの様子

春の企画展予告

青野氏が獲得した水泳の銅メダル

企画展「青野氏の獲得した水泳の銅メダル」
 展示期間：令和3年3月29日（日）～4月4日（日）
 展示時間：10時～17時
 入場料：無料

「戦後からアイランド」
 企画展「戦後からアイランド」
 展示期間：令和3年3月29日（日）～4月4日（日）
 展示時間：10時～17時
 入場料：無料

来館者の声
 戦後からアイランド
 展示期間：令和3年3月29日（日）～4月4日（日）
 展示時間：10時～17時
 入場料：無料

短歌作品展

大賞
 いましばし戦を語りつくすまで
 神お侍けよるる方かれ
 内山 孝

佳作
 赤瓦 一面に 嘆きめめ
 手入れば念のせき 起れ
 金海 孝

佳作
 赤瓦 一面に 嘆きめめ
 手入れば念のせき 起れ
 金海 孝

事務局長賞
 赤瓦 一面に 嘆きめめ
 手入れば念のせき 起れ
 金海 孝

夏の企画展報告

企画展「戦後からアイランド」
 展示期間：令和3年7月17日（土）～7月24日（土）
 展示時間：10時～17時
 入場料：無料

企画展「戦後からアイランド」
 展示期間：令和3年7月17日（土）～7月24日（土）
 展示時間：10時～17時
 入場料：無料

来館者の声
 戦後からアイランド
 展示期間：令和3年7月17日（土）～7月24日（土）
 展示時間：10時～17時
 入場料：無料

【10代】

- 初めて来てよりよく戦争のくるしさ、かなしさが良く分かった。戦争中は、生きていくほうがつらかったことがわかった。これらの残された物などを見て私はもう二度と戦争は起こしてはいけないと思った。戦争で命をおとすのはとてもつらいことだと改めて分かった。手術の時は物も何もなく人だけの力で、人の命を助けなければいけなかったのは私も勉強になった。私たちが今こんな平和に生きていることを改めて戦死した人たちを見直すべきだであることを感じた。一人一人の命を大切にしたい。
- このような史料館は現在、そして後世にも絶対必要なものであると思います。学校で平和学習を行っていますが、平和の大切さ、また戦争の苦しさを深く知れる場所だともっと国内外問わず知れ渡っても良いのではと思いました。
- とても豊富な資料と分かりやすい展示で初めてでも十分に楽しむことができ、非情に満足した。
- 始めてしょうけい館にきました。初めの印象とは違いとても感動しました。今の日本とは全く違い今風に生活できていることを感謝したい。

【20代】

- 非常に学びの多いものとなりました。ありがとうございました。
- 戦争を体験した人々がお亡くなりになっている今の時代にこうして戦争のことを学ぶ施設があることはとてもありがたいことです。自分達の視点では気がつかないことを教えてくれる素晴らしい施設であると感じました。
- 戦争で腕や手がなくなってしまったうえ、今ほど医療も発達していおらず重たそうな義手でとても大変そうだと思いました。戦死せずに生き残れた人も簡単によかったとは言えないその後があったことを知れて良かったです。
- 自分は戦争のテーマの作品のミュージカルに出演します。勉強の為にこの場所へ行かせて頂きました。自分の知らない歴史や出来事を知り、本当につらかったです。この気持ち忘れずに舞台上で平和を伝えられるように頑張ります。ありがとうございました。
- 今まで見てきた展示の中ですごく胸をうつものがありました。野戦病院のジオラマはすごくリアルでその時の状況がいかに大変だったかが分かりました。これからもずっと続いて欲しいです。決して忘れてはいけない記憶であると思いました。

【30代】

- 例年、八月になると戦争について考えるようになります。インターネットが普及し、娯楽は増えていますが、こうした最も伝えていかなければならない情報は埋もれてしまい風化していくような危機感を感じています。
- 本の知識では知ってはいましたが展示品、映像を見ると意識が変わると感じました。戦争について、改めて考えなければならぬと強く思いました。
- 戦争の話を後世に残す大切な施設として、大変学びがありました。
- 常設展示を見ていると、とても自分は恵まれた時に生まれてきたのだと思ってしまう。仕事や私生活で辛いことがあっても、この時代に生きている人はもっときつかった、つらかったのでは、と考えるとこのくらいの事で負けてはいけないのだと再認識する。
- 実際に負傷した軍人を見ることはなかったので、映像や資料で具体的に理解できました。また 戦傷病者にも戦後があり、様々な差別、苦労を経験したことが分かり学びとなりました。
- ジオラマの人の表情に見の竦む思いでした。友人と又、参ります。
- このような施設がもっと増えて、次の世代に戦争の恐ろしさを伝えていって欲しい。展示により戦傷病者の方々への労苦についてかったです。本当に良く教えていただけたので、今日は本当に来館して良かったです。

【40代】

- とても勉強になりました。2Fの徴兵制のコーナーはとても分かりやすかった。今でも自分でも勉強していましたが、ハッキリ理解できていなかったのが、ジオラマでは生々しく当時の状況が視覚的に伝わり良かったです。
- 語り部の皆さんの語りを聞いて。戦傷病者の人びとの過酷な人生体験、無念の思いが伝わってきました。ありがとうございました。戦争は沢山の人は大変な目にあわされてしまったと思います。
- 戦争の苦しみとは戦時中に限らず今現在までずっと続いているものであることを痛感しました。
- 是非このような施設があること、語り部さんのお話などを聞ける機会を小学生や中学生などの次世代へつないでいてほしいと思いました。
- 子供の頃は街で傷痕軍人の方をよく見かけましたが近頃はそのような事もなくなり記憶が薄れかけました。援護の取り組みの実情や傷を受けながら力強く幸せに生きた方々の人生を知る事が出来て良かったと思います。
- 先人の苦労を改めて垣間見られありがたい気持ちになった。

【50代】

- 「東京新聞」にて、こちらを知り来訪しました。想像していたより見ごたえがあり、時間が足りず、1Fの関連資料も興味深いものが多数あったので再訪したい。
- 戦争というものは亡くなった人、親、兄弟姉妹、友人などをなくした人、傷を負った人、生涯障害を持って生きていかなければならない人など、とても多くの人たちが居てその分それらの人生があるのだとその人たちがどんな思いでどんな生涯を歩んだのかと思うと言葉にならないです。
- 国の為に徴兵されて、傷つき不自由の体で戦後を生きてこられた方々の苦勞が分かりました。
戦争体験者がほとんどいなくなる中、第2次世界大戦の惨状、労苦をどうやって後世に伝えられていくのか不安です。
- 東京新聞で見たので来させて頂いた。とても貴重で知らないこともわかってよかったです。

【60代】

- 戦争のもたらす苦しみ、悲しみを伝える手段の一つとして戦傷病者の実態を伝えることだと思います。
子供たちもしょうけい館をいろいろ学んでほしいと思います。
- 四名の語り部皆さん、それぞれの個性を生かされていました。「戦傷病者」として、軍属、準軍属の方の体験も語られていることを今期初めて知り、とても心強く思いました。
- 戦争で亡くなった方、傷を負った方、家族を失った方、戦争を経験された全ての方の苦しみ、その後の人生を思うと、戦争は終わった、戦後などと言いきってはいけない、戦闘はなくても戦争による影響は後世まで長く続いてしまうというのを強く感じました。
自分自信の責任を強く感じました。

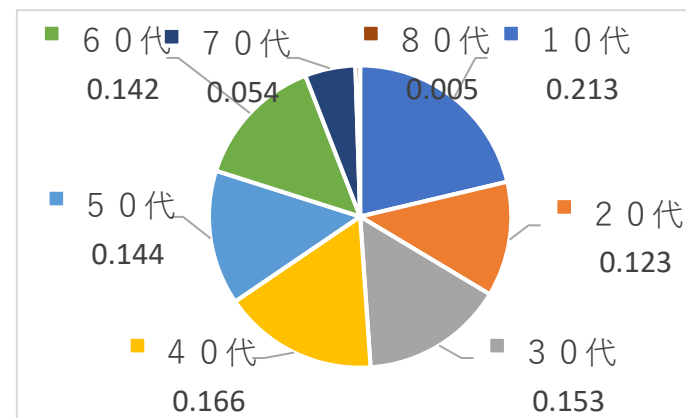
【70代】

- 一度は訪ねてみるべきと知人に言われて来ました。
戦争についてはあらまは知っているつもりでしたが、一人一人の方の体験にふれ感銘を受けました。一度ではとても学びきれません。またお訪ねしたいと思います。

アンケート回答者年代別比率・アンケート総数367件

令和3年1月末現在

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
比率	21.3%	12.3%	15.3%	16.6%	14.4%	14.2%	5.4%	0.5%
件数	77	44	55	60	52	51	19	9



アンケート用紙は 1階 フロアーに設置しています。